

個別指導塾で実施している無料体験授業についての一考

個別指導塾で実施している無料体験授業についての一考

2013年3月修了

柿崎 純

(個別指導 Axis 観光通り塾責任者／オーナー)

1. 無料体験授業について

2016年3月1日に、16年勤めた学習塾（以下、塾と表記する）から、出身地である青森市の直営校舎を買い取るという形で独立した。現在、個人事業主として塾運営を行っている。すなわち、勤務していた塾はフランチャイザーとなり、筆者はフランチャイジーとなったのである。そのフランチャイザーの提示している方針の一つとして、「地域の教育力を上げるべく、良質の教育サービスを提供する」がある。当塾でも、会員生に対して日々学習指導や面談を行いつつ、一方で一人でも多くの方に当塾で学んでもらいたいとの思いから、様々な集客活動を行っている。その集客活動では、主として「無料体験授業」を実施している。文字通り授業を無料で行うもので、これから通塾を検討している児童・生徒を対象としている授業である。

当塾に限らず、この無料体験授業は様々な塾で行われている。なぜ、無料としてまで授業を行うのか。無料体験授業を行う側から述べると、「児童・生徒が塾の雰囲気馴染めるかどうかを塾側で見極めたいために、無料体験授業を行う」のである。

ところで、実際入塾していただいた児童・生徒および保護者の方に聞いてみると、塾選びは大事なイベントであるという。入塾を検討する際、5つ前後の塾を回って吟味するのだという。その際、「この塾には成績向上や受験合格のための支援体制が整っているかどうか」や、「使用教材はどのようなものか」、「どういう学習指導をしてくれるのか」の3点を塾側に質問するとのことである。塾側から回答を得るわけだが、その回答を比較すると、名称は違えども内容はほぼ変わらないという印象を受けるようである。そこで、児童・生徒および保護者は、その塾で行っている無料体験授業を実際に受けてみて、内容を吟味するそうである。

2. 無料体験授業の回数と最適な回数について

様々な塾のチラシやホームページを見てみると、無料体験授業の実施回数には数種類あることが分かる。よく目にするのは、80分1回、80分2回、80分3回、80分4回である。実施回数は各塾の方針により決定されるようである。各塾では、1つの回数を提示してその回数で無料体験を行うことが多い。しかし、当塾では開塾以来、様々な回数の無料体験授業を行ってきた。当塾にとって最適な無料体験授業の回数を知りたいと思ったからである。開塾して3年目となったわけだが、ここで当塾にとって最適な無料体験授業の回数について触れたい。様々な回数の無料

体験授業を行ったわけだが、現時点でこちらから提示できる答えは、「最適な回数は、存在しない」である。無料体験授業の回数が多いからといって入塾するわけではないのである。また、回数が少なくても入塾するときはすぐに入塾するのである。では、何が入塾の判断基準となるのだろうか。

3. 無料体験授業の振り返りと塾を運営していく上での留意点について

開塾から今日までの無料体験授業を振り返ると、入塾の際のきっかけとして次の 3 点について多く触れられていることに気づいた。

- (1) 本人が通塾したいと思ったときに、家庭では本格的に通塾開始時期を検討する
- (2) 学習カリキュラムや設備、諸費用、合格実績、成績向上率で入塾を決定しない
- (3) 言葉で言い表せないが、来てみて良かったと感じたら入塾する

以上から、通塾の判断基準は、その塾が醸し出す雰囲気と塾責任者をはじめとする職員一同の所作ではないかと思うのである。これらが通塾を検討している人に合致すれば、すぐ通塾することになるし、合致しなければ、通塾させることはないのである。入塾者数を上げるためには、日頃から塾内の整理整頓と清掃を徹底させながら良い雰囲気を醸成するとともに、職員一同の所作に注意を払わなければならないのである。それを行いつけることによって、無料体験授業を実施した際に「この塾に入りたい」と思わせることができるようになるのであろう。

ここで、フランチャイザーの代表取締役および非常勤取締役が私に述べたことを紹介したい。それは、「フランチャイズ塾が上手くいくかどうかは塾責任者の人柄にかかっている」ということである。ここで言う「人柄」こそ、まさに今述べたことを指すのだろう。無料体験授業の振り返りから、学習環境を日々整えるとともに、学習指導の質を上げ続け、何よりも塾責任者が日々「自己鍛錬し続けること」で、塾は発展するということを改めて認識した。引き続き、当大学院大学で学んだことを日々の塾運営に活かすようにしていきたい。